



CSR報告書 2024



日本精蠟株式会社



編集方針

わたし達日本精蠟グループは、企業として3つのミッション（果たすべき使命）を掲げています。そしてこのミッションを遂行し続けることが、企業としての社会的責任を果たすことであると考えています。

ミッション 1 お客様と社会のニーズに応えるワックス製品を開発しご提供する

ミッション 2 全従業員に働く喜びと心身に健康的な日々の職場を提供する

ミッション 3 操業する地域社会の一員として安全と自然環境を守り共に成長していく

この『CSR報告書』は、わたし達日本精蠟グループが、ミッション遂行のために行っている具体的な取り組みについて、全てのステークホルダーの皆さま、並びに当社HPを訪ねて下さった皆さまに対して、ご報告するものです。

※報告対象期間 : 2023年1月～2023年12月（一部対象期間外の活動も含まれます）

※お問合せ先 : 日本精蠟株式会社人事総務部

☎ 電話 : (東京) 03-3538-3061 、 (徳山) 0834-84-0334

ホームページ : <http://www.seiro.co.jp>

ワックス事業ポートフォリオの構築

当社の石油ワックスは、油分を限りなく除去した人にも環境にも安全・無害な高純度・高品質ワックスです。これらもお客様のご意見・ご要望に真摯に耳を傾けながら、お客様の課題を解決するワックス製品づくりに努めます。

他方、社会全体で推進すべき脱炭素・循環型社会への移行にも確りと向き合い、再生可能なバイオマス由来ワックス製品の開発に今後一層力を入れて取り組みます。

将来的には、石油、天然ガス、バイオマスの“原料 3 本柱”によるワックス事業ポートフォリオを構築し、お客様と社会の多様なニーズにおこたえしていくことによって、わが国唯一のワックス専門メーカーとしての社会的責任を果たしてまいります。（「サステナビリティ基本方針」より）

▶ お客様と社会のニーズに応えるワックス製品を開発しご提供する

当社の石油ワックス製品は、油分を限りなく除去した人にも環境にも安全・無害な高純度・高品質ワックスです。これらもお客様のご意見・ご要望に真摯に耳を傾けながら、お客様の課題を解決するワックス製品づくりに努めます。他方、社会全体で推進すべき脱炭素・循環型社会への移行にも確りと向き合い、再生可能なバイオマス由来ワックス製品の開発に今後一層力を入れて取り組みます。

将来的には、石油、天然ガス、バイオマスの“原料 3 本柱”によるワックス事業ポートフォリオを構築し、お客様と社会の多様なニーズにおこたえしていくことによって、わが国唯一のワックス専門メーカーとしての社会的責任を果たしてまいります。

▶ ワックス事業ポートフォリオの構築



石油ワックス

石油ワックスは、わが国唯一のワックス専門メーカーとして当社が創業以来取り組んできた主力製品です。天然資源（石油）から生まれるパラフィンワックスは、燃やしてもダイオキシンを発生させず、土中の微生物によって分解され（「生分解性」）、環境にも人にも安心で安全、無害な素材です。

天然ガスワックス

天然ガスを原料として、フィッシャー・トロプシュ製法によりワックスを製造する世界でも希少なプラントを有する、Shell MDS（マレーシア）社の日本総代理店として、同社製天然ガス由来ワックスを輸入販売しているほか、同社製ワックスをさらに精密に分留・精製加工を加えた当社製品を製造販売しています。

これは、飽和ノルマル炭化水素に富み、不純物が非常に少ないパラフィンワックスです。

バイオマスワックス

バイオマス由来ワックスの中で、当社は特にライスワックス製品の開発に注力しています。ライスワックスは、こめ糠（ぬか）から抽出される蠟分（非可食性）です。当社は、ワックス専門メーカーとして蓄積した技術により、ワックスの各用途に求められる機能性を加えた、当社独自の高性能ライスワックス製品をご提供しています。

（「中期経営計画（23-27）」より）



第1,2回サステナブルマテリアル展示会出展

安全・安心な組織風土と次世代人材の育成

企業の成長にとって“人”が最も必要且つ大切な資産であることを心に留め、心理的安全性の高い職場と自由闊達な議論を尊ぶ価値観を広く社内に根付かせ、次の世代を担う自立した人材を育てていきます。

(「サステナビリティ基本方針」より)

▶ 全従業員に対し働く喜びと心身に健康的な日々の職場を提供する

企業の成長にとって“人”が最も必要且つ大切な資産であることを心に留め、心理的安全性の高い職場と自由闊達な議論を尊ぶ価値観を広く社内に根付かせ、次の世代を担う自立した人材を育てていきます。

▶ 安全・安心な組織風土醸成と次世代人材の育成

- ・ “安全と健康は全てに優先する”安全最優先への意識改革
- ・ 自主自立を育み自発性と個性発揚を促す各職場主導の育成
- ・ 学びと挑戦の機会均等、権限委譲による個々の能力解放
- ・ 日々の対話を通じた“怖れない”組織風土と経営参画意識の醸成
- ・ 多様な働き方普及に向け継続的な環境整備と制度見直し

多様な働き方

従業員ひとりひとりが、ワークライフバランス管理と心身の健康維持に自ら主体的に取り組むことを促し、その一助とすべく在宅勤務、フレックスタイム、時間単位有給休暇、育児休暇、介護休暇制度等、多様な働き方を採り入れています。



人事評価制度

2022年に人事評価制度の改定を行い、役割とミッションに応じ報酬を決定する役割等級制度を導入しました。年功的な運用を見直し、評価者のスキルや業務目標への達成度合いを正しく評価することを目的とし、導入後は評価者研修を定期的実施し、制度への理解促進や評価者のスキルアップに向けた取り組みを行っています。また、評価者、被評価者の意見をヒアリングし、適宜アップデートを行うことで、より納得度が高い、モチベーションにつながる人事評価制度を目指しています。

教育・研修制度

各職場内での業務を通じたOJT教育に加え、各階層別研修やコミュニケーション研修などのOFF-JT、各種資格取得の推進を行い、人材育成と従業員の自律的な成長支援に努めています。また、職場の心理的安全性やエンゲージメントサーベイを定期的実施し、その結果を研修に反映させることで、OJT教育や評価のフィードバック面談の質の向上を目指しています。

健康管理

全従業員を対象とした定期健康診断、35歳以上の生活習慣病予防検診、及びメンタルヘルス対策として年1度のストレスチェックおよび随時個別面談を実施し、全ての従業員の心と体の健康管理に努めています。

日本精蠟グループ行動指針

わたし達日本精蠟グループの全役員、従業員は、

■ お客様、お取引先様に対して

- ・当社製品の品質に関する表示は内容に偽りなく正確に行います。
- ・企業情報は適宜適切に開示します。
- ・公正な取引契約を結びます。
- ・独禁法に触れる行為はしません、またそれに加担もしません。
- ・労働者の人権を侵害したり自然環境を破壊する事業者とは取引しません。
- ・ご贈答等お心遣いは謹んで辞退し、高い節度と倫理観をもってお付き合いさせていただきます。

■ 職場において

- ・安全ルールを遵守し、作業する全ての人がケガをしない、させない職場を目指します。
- ・お互いが助け合い、チームとして全力で目標達成を目指します。
- ・「今まで」「当たり前」の概念を捨て、常に改善の意識をもって取り組みます。
- ・仲間の発言を遮ったり、威圧的な言動はしません。
- ・あらゆる不正とハラスメント行為を決して見過ごしません。
- ・個人情報大切に守り、出生・性別・国籍・思想等による差別やプライバシー侵害はしません。
- ・個々の価値観を尊重し、仕事とプライベートが両立できる多様な働き方を応援します。

■ 社員の一員として

- ・全ての法令条例を遵守し、公序良俗に反する迷惑行為をしません。
- ・地域の自然環境維持に努め、その保全活動に積極的に参加します。
- ・省資源、省エネルギーと廃棄物削減に日々努めます。
- ・行政当局に対して必要な報告は、漏れなく、且つ速やかに行います。
- ・反社会的勢力との関係は一切根絶し、それを利する行為もしません。

従業員データ

- ・平均年齢 : 男性42.45歳、女性36.43歳
- ・平均勤続年数 : 男性18.95年、女性10.90年
- ・平均有給休暇取得率 : 男性75%、女性66%
- ・平均月間残業時間 : 男性13h、女性11h

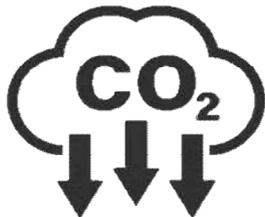


次世代への責任。環境負荷低減と工場の高度化・強靱化

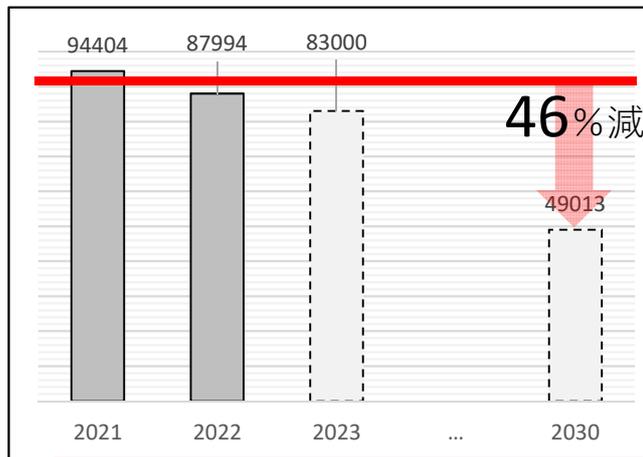
脱炭素、循環型社会への転換を目指す世の中の一員であることを自覚し、旗艦工場徳山を自然災害に強く時代の要求に応える事業拠点として次の世代に残すために、環境負荷低減と設備の高度化・強靱化に最大限と取り組みます。（「サステナビリティ基本方針」より）

2030年までの数値目標

温室効果ガス排出量 (t-co2/年)



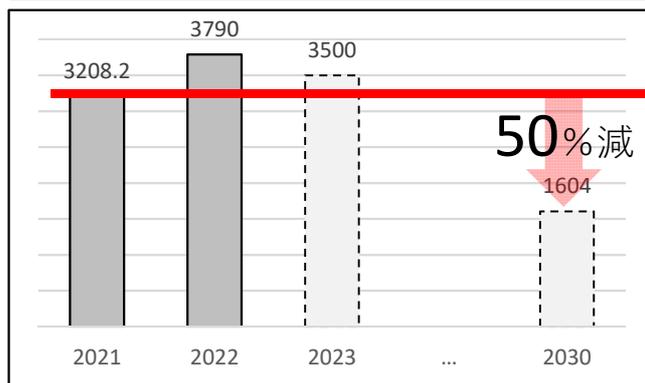
2013年比 ▲46%減



産業廃棄物排出量 (t/年)



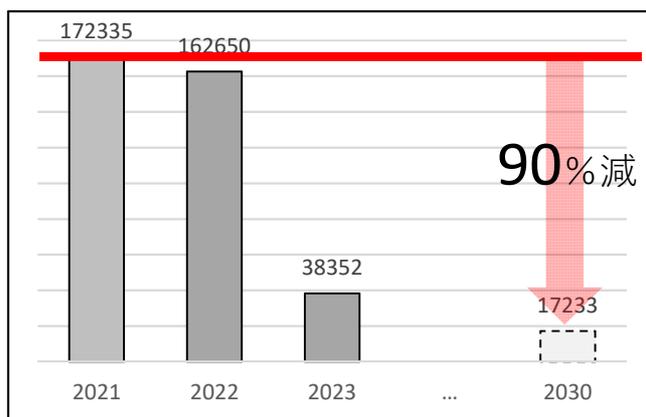
2013年比 ▲50%減



燃焼用重油販売量 (kl/年)



2021年比 ▲90%減



労働災害ゼロへの取り組み（危険感受性・敢行性）

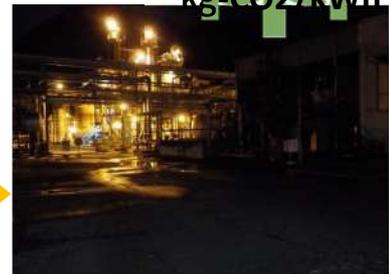
徳山工場、つくば事業所では、危険感受性・敢行性のテストを実施しました。これは自身が危険を危険と感じる力（感受性）と危険なことでも「やってしまう」傾向（敢行性）を評価、認識し、日頃の業務に活かす取り組みです。2021年に実施したのち、2年後の2023年に同様のテストを実施しました。結果としては、危険感受性の向上、危険敢行性の低減が見られ、改善している結果となりました。今後も継続的に、形骸化しない安全活動、教育を展開し、日本精蠟グループ全体の労働災害ゼロを目指します。

環境負荷低減に向けた取り組み

CO2削減量

21.2
kg-CO2/kWh

徳山工場では、環境負荷低減の取り組みとして年2回（夏期、冬期）、ライトダウンキャンペーンを実施し、CO2排出量削減に向けた取り組みを行っています。



保安防災の取り組み

◆徳山工場では、4回/年の訓練を実施しています。近年発生する可能性が危惧されています南海トラフ地震を想定した訓練や、漏洩、火災、爆発等の事故発生訓練を行っています。訓練は、消火活動に加え、情報伝達も重要となります。そのため各担当が責任を以って、有事の際に迅速な対応ができるよう日頃から自衛防災団として防災意識を高めています。

レスポンスブルケア活動

地元住民の方々を対象に、毎年地元企業が開催するレスポンスブルケア活動に参加しています。この活動は私たち企業が、環境・保安・防災に関して、どのような活動を展開しているか地元住民の方々に説明し意見交換をする場です。



日本精蠟株式会社

たゆまぬ探求で社会に奉仕する ワックスの総合メーカー



西ヶ森

庄ノ浦工場

打上工場

■ 徳山工場概要 ■

1929年(昭和4年)に南満州鉄道の子会社として創業し、終戦後(昭和26年)に新生日本精蠟株式会社として設立されました。現在、創立70年を迎え、国内に留まらず、2014年にタイ現地法人(Niippon Seiro (Thailand) Co., Ltd)を設立しております。

【資本金】11億2000万円

【所在地】周南市大字大島850番地

【主要製品】パラフィンワックス、マイクロクリスタリンワックス、重油

地域との取組み①

◆ キャンドル卒業式

地元の卒業式を盛り上げるために地元のボランティアと一緒に竹を伐採し、地元小中学生と竹灯籠を作りました。弊社からは蠟燭の原料を提供しております。卒業式当日は、照明を消し、竹灯籠に火を灯しました。卒業生の花道を豪華に演出することができました。



地域に密着した清掃活動

◆ 3,000万人瀬戸内海クリーン大作戦

毎年恒例の活動で、地元の小学生及び中学生と合同で海岸清掃を実施しました。今後も、地域との繋がりを大切に海の豊かさを守る活動を実施していきます。



地域との取組み②

◆ 交通安全立哨活動

1回/月に始業前立哨を行い、地元の方々と社員へ交通安全を促しています。地元小中学生も立哨に参加し、地域と協力して地元企業としての役割を果たしています。



献血車の定期的な受入

◆ 献血車受入活動

4回/年の献血車受入及び献血活動への積極的協力を促し、社会貢献の一環として活動しています。



安全への取組み

◆ 安全活動

□ 5S安全パトロールを実施(第一水曜日)

毎月テーマを決めて、産業医と共に工場内の衛生設備、作業環境、危険箇所、5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の状態について巡視しています。指摘された内容は即時改善しています。

□ 安全衛生中央委員会を開催(第二水曜日)

労働災害防止を目的として、5S安全パトロールの結果報告、作業環境測定の結果報告、ストレスチェック実施報告、長時間労働者の報告、職場の危険箇所の改善策等について議論し、安全意識向上に取り組んでいます。

防災への取組み

◆ 防災訓練

□ 総合防災訓練

計画的に4回/年の防災訓練を実施しています。事故発生時には消火活動に加え、情報伝達も重要となります。そのため各担当が責任を持って連絡を確実に、有事の際に迅速な対応ができるよう日頃から自衛防災団の防災意識を高めています。



庄ノ浦工場

環境保全への取組み

□ 「5Sの日」～県道清掃活動～

秋～春の第3金曜日の夕方1時間を「5Sの日」として工場周辺の県道、海岸清掃等を実施しています。工場周辺の県道は通学路でもあるため、子供達の安全や工場美観の観点からも継続的な活動をしています。

□ ボランティア活動

「まちと森と水の交流会」という森林ボランティア活動に毎年参加しています。木を間伐し整備する事は、森林を健全な状態に導く事に繋がり、更には豪雨に対する備え及びCO2削減効果にも大きな役割を果たします。



海岸の清掃作業

環境負荷低減への取組み

◆ 省エネ法の事業者クラス分けでSクラス評価

当社は、経済産業省・省資源エネルギー庁が実施する省エネ法に基づいた事業者クラス分け評価制度において、2年連続で最高評価であるSクラス(省エネが優良な事業者)と評価されました。事業者クラス分け評価制度は、省エネ法定期報告書の提出が義務付けられている事業者を対象として評価するもので、4段階(S、A、B、C)に評価されます。

◆ 排出抑制 リデュース (Reduce)

廃棄物の分別廃棄を推進し、廃棄物の排出抑制に努めています。ワックスを製造する過程において発生する産業廃棄物の排出量を削減するため、原料、製造工程、副資材、包装形態に亘って、生産プロセスを見直し、排出量削減に取り組んでいます。

◆ 再利用 リユース (Reuse)

ワックスを製造する過程において不純物を洗浄するために使用する硫酸は、その後、化学肥料の一部として有価物として再利用しています。その他、印刷した紙を再度古紙として利用し、資源を有効に活用しています。

◆ 再資源化 リサイクル (Recycle)

日本は、年間170万トンの繊維製品が廃棄され、そのうち約8割が焼却・埋め立て処分されています。その環境負荷低減のため、不要な作業服を回収し、原料を分解し再資源化し、再度市場に循環する取組みに参加しています。
【2021年度】実績126kg





日本精蠟株式会社